

# 教 育 長 事 務 報 告

月 日	行 事 名	場 所
1月24日(水)	いじめ対策専門委員会	市役所本庁舎
	市史編さん委員会	市役所本庁舎
	教育委員会定例会	市役所本庁舎
1月25日(木)	市民大学ゼミナール法学部開講式	生涯学習センター
1月30日(火)	北上市総合教育会議	hoKko
2月4日(日)	福豆鬼節分会	鬼の館
2月5日(月)	コミュニティースクール等連絡協議会	江釣子地区交流センター
2月6日(火)	いじめ問題対策連絡協議会	市役所本庁舎
	県学校教育ICT推進協議会	サンセール盛岡
	県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換	サンセール盛岡
2月7日(水)	北上市基本構想等審議会	江釣子地区交流センター
	図書館協議会	中央図書館
	給食運営委員会	南部学校給食センター
2月10日(土)	北上市児童生徒表彰式	さくらホール
2月11日(日)	「国際平和ポスターコンテスト」展示会及び表彰式	hoKko
2月14日(水)	教育委員会定例会	市役所本庁舎

## 2月 教育長事務報告

今定例会では、

- 1 2月6日(火) 県学校教育 ICT 推進協議会(令和5年度第3回)
- 2 2月6日(火) 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換(令和5年度第3回)  
と、事務報告にはありませんが、
- 3 各種コンクール・大会・表彰関係  
以上3件について報告いたします。

### 【県学校教育 ICT 推進協議会】

- 1 日時 令和6年2月6日(火) 13:30~14:30
- 2 場所 サンセール盛岡 3階「大ホール」
- 3 内容

#### ◇議題

- (1) 岩手県クラウド版統合型校務支援システムについて
- (2) G I G A端末の更新予定について
- (3) 「学びの改革プロジェクト」のR6年度の取組(案)について
- (4) I C T活用研修の講座案内について

#### 4 所感

議題(1)については、いよいよ今年4月から統合型校務支援システムが、当市を含めた11市町村で先行導入され他市町村も順次導入し、令和8年度中に県内すべての市町村に同一システムが導入される予定となっております。当市では現在、データ登録・基本操作研修会(データ取り込み、出席簿作成、サービス関係等)・運用テストなど4月の運用開始に向け準備を進めておりますが、県教委によりますと、来年度になってからも基本操作研修会(通知表・調査書・指導要録の作成等)は引き続き開催される予定になっております。システムが確立しすべての教職員が運用できるようになるまでには、まだまだ時間がかかると思われれます。今後大きなトラブルもなく運用され、将来的には教職員の働き方改革の一助になることを期待しているところです。

議題(2)については、1人1台端末の着実な更新に向け、県に基金(5年間)を造成し、国から県に令和7年度までの更新分に必要な経費が交付され、県から市町村に補助金(5.5万円/台)を交付する予定となっております。これらを進めるにあたり、更新予定年度に関わらず令和6年度中に、県では「基金管理事業計画」を、市町村では「整備事業計画」を策定する必要があるとのことでした。

議題(3)の「学びの改革プロジェクト」資料 3-1については、来年度の新規事業として「1人1台端末を活用した[心の健康観察]の取組」を推進するとしています。これは、不登校やいじめ、児童生徒の自殺が急増する中、1人1台端末を活用して児童生徒の心や体調の変化を把握し、早期発見・早期支援につなげる「心の健康観察」の全国小中高での導入を推進する事

業としています。

議題(4)については、来年度総合教育センターのICT活用研修の講座案内に、教科指導や校務おけるICT活用について、「使用アプリ」や「活用場面」を掲載し、個々の目的に応じて研修講座を選択できるよう、講座案内の内容を変更したとのことでした。

### 【県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換】

- 1 日時 令和6年2月6日(火) 14:45～16:45
- 2 場所 サンセール盛岡3階「大ホール」
- 3 内容

#### ◇各室課説明

各担当から、①研修受講履歴システム及び教員研修プラットフォームについて、②県立高等学校教育の在り方に関する地区別懇談会の開催について、③岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針、④岩手県保育者のための学びのらしんばん活用ガイドについて、⑤岩手県外国人児童生徒等教育方針の策定について、⑥令和7年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜について、⑦教職員の綱紀の保持について、⑧コミュニティ・スクールの導入状況及び令和5年度岩手県学校運営協議会運営状況先行調査の実施について、⑨子どもからの意見への対応について、⑩令和6年度の主要事業についてそれぞれ説明がありましたが、その中で主なものについてご報告いたします。

①については、令和6年4月から教員一人一人にシステムにログインするアカウントが付与され、各端末から研修の申込や受講履歴を確認でき、県内の研修以外にも、教職員支援機構や大学の研修講座など、多様な研修コンテンツの申込・記録が可能になるとのことでした。③については、これまでの方針の改定版として「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」[資料3-2](#)が今年1月に県教委から出されました。これによりますと、「適切な運営や効率的・効果的な活動の推進」(○地域クラブ活動の運営団体・実施主体は、スポーツクラブ・スポ少・スポーツ協会・文化芸術団体・保護者会・市町村など様々。○休養日及び活動時間の設定。○保険の加入促進。など)、「移行に向けた環境整備」(○段階的な体制の整備。○協議会などの検討体制の整備。○方針・取組内容・スケジュール等の周知。など)、「大会等の在り方の見直し」(○大会・コンクールの参加・応募等の機会確保。など)など、新たな方針が掲げられております。⑥については、令和7年度以降、杜陵高校定時制入試(後期日程)に不登校等の生徒を対象とする「特別枠」を設置する予定であること。⑧については、県内のコミュニティ・スクール導入状況(R5.12.1 現在)は、33市町村で導入率79.4%(全国58.3%)であること。⑩については、「学習定着度の把握」(○県学調の教科見直し：国・数→数・英。○英検 IBA による英語力早期把握：中2→中1。など)、「不登校対策の強化」(○スクールロイヤー相談体制整備。心の健康観察システム活用推進。など)、「教育振興運動60周年の機運醸成」などがあげられ、意見交換のテーマと関連するという事で、意見交換の中でさらに協議を深めました。

#### ◇意見交換「令和6年度重点事項について」

県学調(中2)の教科の見直しについては、「国語の学力把握も必要なので継続してほしい。」

「スクールロイヤーは何人か➡R6年度は1人」「教育振興運動60周年とはいうがCSとの関りはどうとらえるのか➡CSと同じととらえている」「学校教育DX、教育DX、学校DXと同じような言葉があるがどう区別したらよいのか➡わかりやすいよう整理する」など、様々な意見・質問が出されました。

#### 4 所感

来年度は、学力向上・不登校対策・部活動の地域移行など様々な課題がある中、「統合型校務支援システムの導入」「1人1台端末による[心の健康観察]の実施」「1人1台端末の更新に向けた整備事業計画の策定」「研修受講履歴システム及び教員研修プラットフォームの運用」など、学校教育DXがさらに進む年になります。新たなものを導入する際には、想定外なことも起こり得るので、臨機応変に対応できるよう準備を進める必要があると考えます。

「教職員の綱紀の保持」では、今年度も教職員への懲戒処分が後を絶たない状況であり、「研修の実施」「日頃からの対話」「適切な指導」「風通しの良い職場づくり」「不祥事を発生させない職場風土の醸成」など、不祥事の未然防止に、これまで以上に取り組む必要があります。当市においても、校長会議等で不祥事未然防止の取組について、再度徹底を呼び掛ける必要があると感じた次第です。

#### 【各種コンクール・大会・表彰関係】

- 1 第33回県合唱小アンサンブルコンテスト(1/27・28 キャラホール)  
◇ジュニア部門 金賞：黒沢尻小合唱部A・同B・同C  
※音源審査で「黒沢尻小合唱部」が全国大会(3/23 福島市)出場決定
- 2 第48回県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール  
◇作文部門 県教育長賞：新田透子(黒西小6) 県農協五連会長賞：多田朝飛(黒北小3)
- 3 令和5年度北上市芸術文化功労・体育功労等表彰  
＜芸術文化奨励賞＞ 北上翔南高校鬼剣舞部、北上ミューズコーラス隊  
＜スポーツ栄光賞＞ 黒沢尻工高弓道部
- 4 令和5年度第2回はばたき賞表彰式(2/6)  
＜奨励賞＞八重樫仁歩(北上中3)、黒沢尻北小合唱部、上野中吹奏楽部、黒沢尻工高弓道部、北上翔南高鬼剣舞部
- 5 第51回東北アンサンブルコンテスト(2/11 郡山市)  
◇中学生 金賞：上野中木管八重奏、上野中金管八重奏 ※全国大会(3/20 高崎市)出場  
◇高校 銅賞：黒沢尻北高金管八重奏

以上で事務報告を終わります。